

今後の予算執行及びスケジュール等について

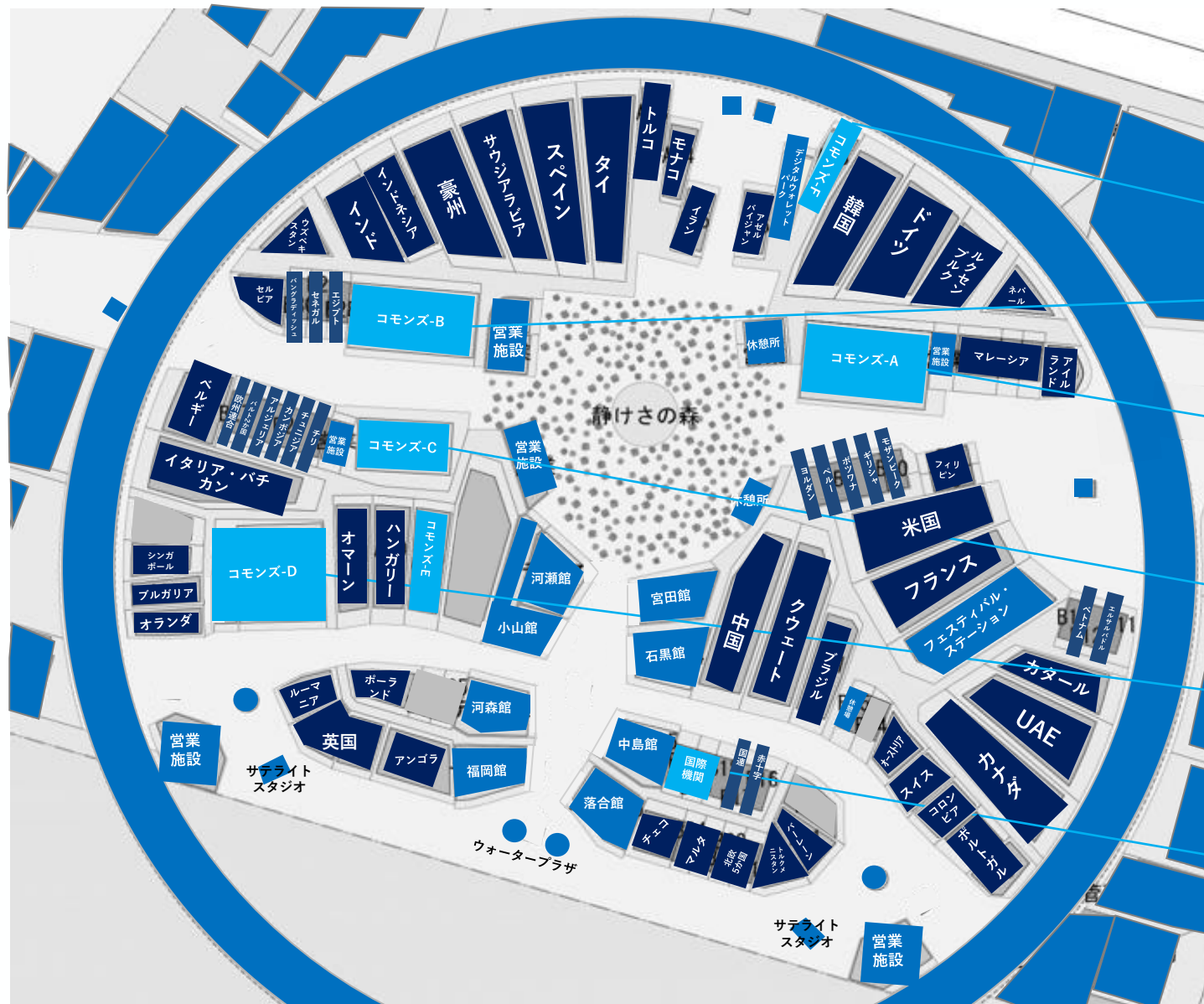
2024年10月2日

経済産業省

会場建設の状況（2024年9月20日時点）



大屋根リングの中で、海外パビリオンの建設が進む



■ 独自パビリオン：52か国

■ 協会用意の単独館：16か国※、3国際機関※

■ 協会用意の共同館：89か国※、5国際機関※

■ 民間パビリオン・協会利用建物等

共同館区画※

■ <コモンズ-F>（2か国）

- ・ アルメニア、カザフスタン

■ <コモンズ-B>（24か国）

- ・ エチオピア、ガイアナ、ガンビア、コートジボワール、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジャマイカ、ジンバブエ、セントビンセント及びグレナディーン諸島、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、ツバル、ドミニカ、ナウル、ハイチ、パラグアイ、東ティモール、フィジー、ベナン、ミクロネシア、モーリタニア、レソト

■ <コモンズ-A>（28か国）

- ・ イエメン、ウガンダ、エスワティニ、ガーナ、北マケドニア、ギニアビサウ、キルギス、ケニア、コソボ、コモロ、サモア、スリナム、スリランカ、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、ソロモン諸島、トリニダード・トバゴ、トンガ、バヌアツ、パプアニューギニア、パラオ、バルバドス、ブルンジ、ボリビア、マラウイ、モーリシャス、ルワンダ

■ <コモンズ-C>（10か国）

- ・ イスラエル、ウルグアイ、ガボン、グアテマラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、パナマ、モンテネグロ

■ <コモンズ-D>（25か国）

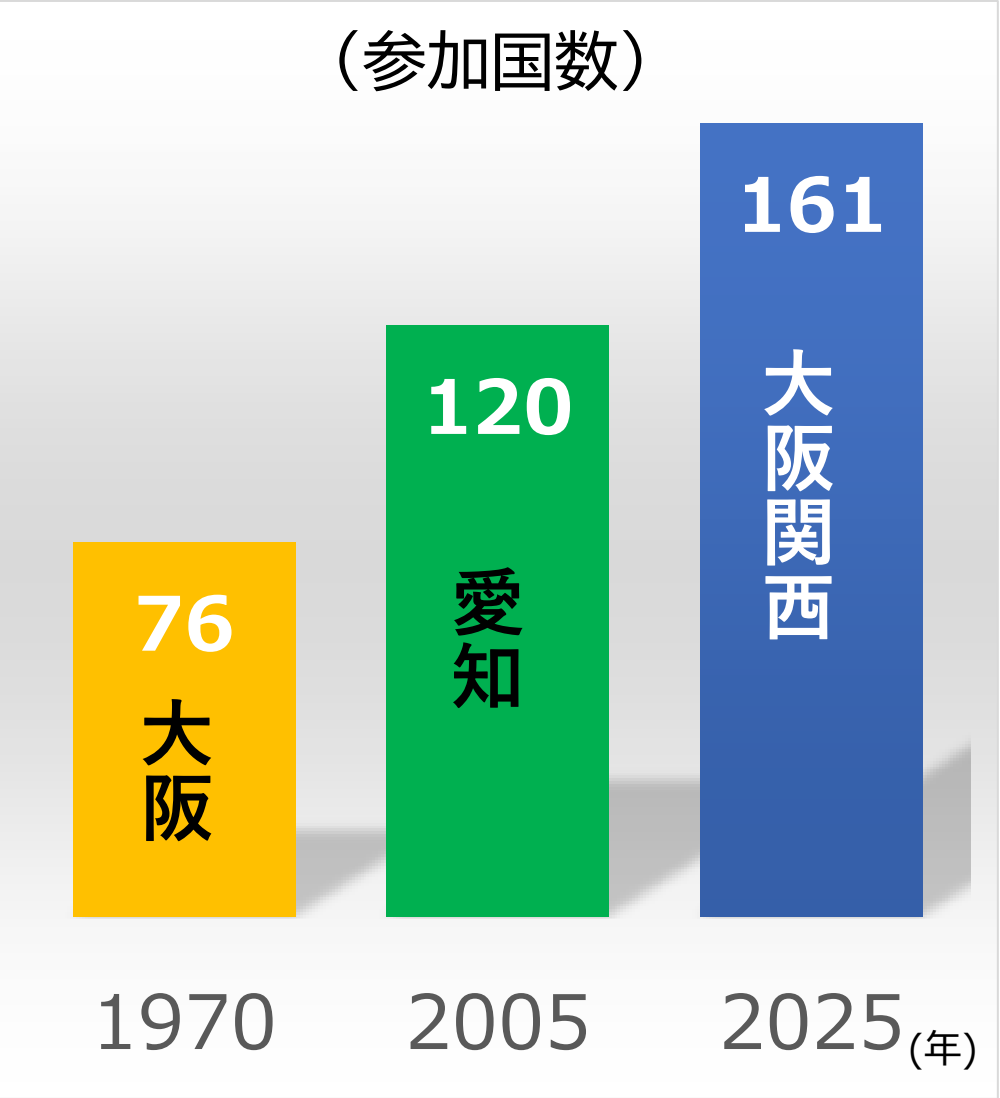
- ・ アンティグア・バーブーダ、カメルーン、ギニア、キューバ、コンゴ、サントメ・プリンシペ、スーダン、赤道ギニア、タジキスタン、トーゴ、ナイジェリア、パキスタン、パレスチナ、ブータン、ブルキナファソ、ベリーズ、ホンジュラス、マーシャル諸島、マダガスカル、マリ、南スーダン、モルドバ、モンゴル、ラオス、リベリア

■ <国際機関共同館>（5国際機関）

- ・ アフリカ連合委員会、イーター国際核融合エネルギー機構、国際科学技術センター、太陽に関する国際的な同盟、東南アジア諸国連合事務局

※区画決定済みの国・機関のみを記載

日本史上最多の参加表明（161カ国地域、9国際機関）



(出所: BIEウェブサイト)

	2025年 大阪・関西万博 (現時点の想定)	(参考) 2005年 愛知万博
タイプA・X (独自パビリオン)	52か国 (A: 47か国、 X: 5か国)	0か国
タイプB (モジュール型パビ リオン: 単独館)	17か国 3国際機関	58か国 4国際機関
タイプC (モジュール型パビ リオン: 共同館)	92か国 6国際機関	62か国
計	161か国 9国際機関	120か国 4国際機関

大阪・関西万博に関する関係者会合（24年9月10日）

- 開催まで半年のタイミングで、会場建設進捗等の準備状況と、今後の課題と対応を確認。大阪府市からIR工事について対応を約束。
- 総理から、関係大臣、府市、経済界に対し、円滑な開催に向けた準備の加速を指示、要請。

日 時：9/10（火）12:50～13:20

出席者：総理、官房長官、経済産業大臣、博覧会担当大臣、国土交通大臣、外務大臣、大阪府知事・市長、十倉会長、松本会長、博覧会協会

議 題：①開幕に向けた準備状況の報告、②万博開催期間中のIR工事について、③今後の課題と対応について

総理指示（抜粋）

- 日本を代表する企業によるパビリオンも含め、万博の魅力あるコンテンツがどんどん発表されつつあり、こうした情報を関係者で連携して広く届けていきたいと思っています。大阪府・大阪市では、チケット販売のサポート窓口も設置していただくことになっており、**協会にとどまらず、関係省庁・府市挙げて来場者増に向けた取組、強化していただきたいと思います。**
- 訪日外国人旅行者が過去最高を記録しています。**インバウンド需要を万博にしっかりと取り込み、また、万博を契機として、日本全国に足を運んでもらう、こうした取組を進めてください。**さらに、**万博の機会を最大限活用したビジネスマッチングについても、その成果は、必ず万博のレガシーとなっていきます。**自見大臣、齋藤経産大臣を中心に、積極的な取組をお願いいたします。
- 何よりも、**来場者及びそこで働く方たちの安全を確保することが最重要です。暑さ対策、メタンガスへの対策、子供目線での安全対策など、既存の計画に捕らわれることなく、関係者一体となって、来場者等の安全確保のための必要な対策を実施してください。会場のみならず、来場者の移送についても、駅での雑踏対策なども含めて、府・市が中心となって、地元自治体と連携しながら取り組んでください。**
- 万が一、**大規模災害が発生した場合の備えに、万全を期すことも重要**です。協会任せにせず、国、地元自治体などの関係行政機関が連携して取り組んでください。
- こうした対応を実現していくために、**博覧会協会の体制は、会期中を見据え、官民挙げて更に強化していきます。政府としても、既に整理されている対応は着実に実施するとともに、必要な措置を機動的に行っていくことが必要**です。
- 開催まであと200日余り、国、府・市、協会、経済界が心を合わせてしっかりと取り組んでいきたいと思っています。皆様方におかれましては、引き続き、是非、それぞれの立場で御尽力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



I R工事における万博への影響低減策

◆全体概要（まとめ）

【工程調整】

- ・ 杭工事を約2か月延期することにより、重機の稼働台数・工事音のピークを閉幕後にずらし、万博会期中の工事量を大幅に低減
- ・ 低減した万博会期中の工事についても、関係者による連絡調整会議を新たに立ち上げ、万博に悪影響が生じないように進める。

基本的な影響低減策（個別）

【交通対策】

- ① 万博開催中のI R工事車両の台数削減と渋滞回避

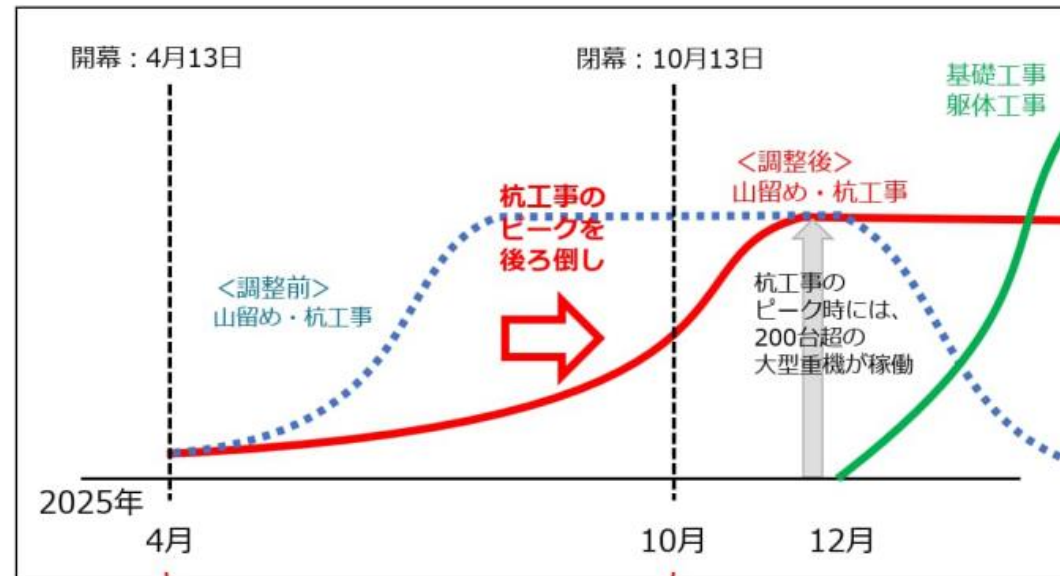
【騒音対策】

- ② 低騒音工法・低騒音型建設機械の採用
※アースドリル工法等

【騒音・粉塵・景観対策】

- ③ 万能塀の設置（高さ2m）
※東ゲート付近は+1m（防音シート等）
- ④ 施工基盤面の切り下げ
※道路高さより約3～7.6m
- ⑤ 万博側の残土仮置場を敷地境界から隔離（50m）、仮設事務所等による遮断

（大型重機の稼働台数のイメージ）



万博に悪影響が生じないように個別調整
（関係者による会議体の設置）

防災実施計画の公表について

- 博覧会協会は、昨年12月に公表した防災基本計画に基づき、災害別の対策等を記載した「**防災実施計画**」を**9月2日に公表**。災害発生時の組織体制、平時における情報収集・共有体制等を明確化するとともに、個別災害に応じた対応方針を具体化。実務上の詳細手順は、今後、各種マニュアルへ落とし込んでいく。

防災実施計画に盛り込んだ主な事項

【組織体制】

- **危機管理センター**（※）を常時設置。
（※）協会危機管理部を中心に、警察・消防等の連絡員、医療機関の統括責任者、会場内警備の指令部門が参集。
- 大規模災害等発生時には**事務総長を本部長とする災害対策本部を設置し、関係機関と連携し事態対処**。
- 特に、大阪府・大阪市とは、物資の確保、帰宅支援等についての連携を強化。

【気象災害への対応】

- 台風： **気象情報や鉄道の運行情報等をもとに、閉場の判断や所要の強風対策を講じる**。
- 落雷： **気象庁の落雷情報や落雷リスク検知システムを活用して情報収集のうえ、高い場所への立入制限等**を行う。
- 猛暑： 暑さ指数（WBGT）をもとに来場者に対策を啓発するとともに、**熱中症患者が出た場合にも診療・応急手当を実施**。

【地震・津波への対応】

- **南海トラフ巨大地震等の地震発生時の**、協会及び大阪府・大阪市の連携、**初動の安全確保から島外への移動に至るまでの対応・手順**を明確化。一時滞在施設の確保や滞在者への配慮についても盛り込み。

【水・食料等物資の備蓄】

- 博覧会協会が準備する**60万食分の備蓄食料**に加え、**大阪府・市からの物資の夢洲内保管の協力も得る**ことで備蓄量を増強。会場内の飲食店にも協力を依頼。**最大3日間（72時間）滞在できる水・食料等**を確保。

【船舶による代替輸送及び緊急時の傷病者搬送】

- 夢洲での滞在が継続する場合における、船舶による代替輸送の要請、ヘリコプターや船舶による傷病者搬送の要請を行う。

今後の予算執行について（会場建設費）

当初想定し得なかった予算項目への対応

- 前回委員会でご報告・ご議論した、**当初想定し得なかった各予算項目**については、9月の協会理事会の結果を踏まえ、**建設コスト推移表の「予備費」から執行する可能性あり（最大94億、精査中）**。
- 今後、以下のタイミングで契約が締結（ないし変更）され、**建設費用として計上**されることとなる。執行に当たっては、引き続き、所要額を精査するとともに、入札等実施といった調達の工夫をすることでコスト縮減に努めていく。
 - ① **タイプX9棟のうちC活用・他用途活用に伴う費用**：発注手続中【11月頃：契約完了予定】
※タイプXとしての工事は10月～12月まで進捗（9月末現在）
 - ② **新たに生じた区画での休憩所等整備**：必要な整備内容を固めた後に発注【12月頃：契約完了予定】
 - ③ **メタンガス対策**：施工内容等を固めた後に発注【1月頃：概ね契約完了予定】
- 一方で、**一定の入札残や執行減**が確保される可能性があることから、最終的な会場建設費は、契約金額から一定程度下がる見込み。今後の執行管理においては、こうした点も勘案しつつ、予算を管理していく。
- こうした精査の結果、予備費の執行額が確定していくこととなる。
- また、**追加で支出が予想される項目が残っていること（リユース関係等）**や、災害など**想定し得ない事象への対応の可能性**が否定できないことを踏まえると、引き続き、所要額を精査し、節減を図りながら、建設費総額2,350億円を超過しないよう、管理していく。

会場建設費の今後のスケジュール感

【24年8月末時点】

今後、一定の新規契約があり、落札減の規模も一定確保されると想定できることから、もともと2220億円で想定していた事業については、予算の範囲内で収まる計画。一方で、追加の予算項目の検討が必要となる。

【24年中】

タイプXの他用途転用や空き地活用など、もともとの2220億円では想定していなかった予算項目の支出を進めることが必要。最終的に予備費を活用する必要があるかについては、2220億円の隙間がどこまで出来るのかによる。130億円の予備費については、将来の執行見込みを把握し、不測の事態が生じた際の対応余力を厳密に管理していく。

【25年4月】

残る大きな発注は、修繕・解体費。一方で、建設が終了していることから、会場建設にかかる不測の事態が生じる可能性は逓減。

【25年8月頃】

解体についての契約が必要となる時期。一方で、会期も終盤に近づき、会場建設費で対応すべき不測の事態は低いと考えられる。

建設費の執行状況について（2024年8月末）

単位：億円

契約済																		今後の予定			総合計	
執 行 項 目	主な内容	23年9月末	23年11月末	24年2月末	24年3月末	4月15日	4月末	5月15日	5月末	6月15日	6月末	7月15日	7月末	8月15日	8月末	小計	主な内容					
進捗率									進捗率		進捗率		進捗率		進捗率							
大工区		840	841	920	1,010	1,010	1,014	1,014	1,036	64%	1,047	1,050	69%	1,051	1,053	65%	1,096	1,097	70%	192	・会場の植栽、舗装、照明等設備、サイン等設置 ・会場附帯施設整備 ・施設等維持補修 ・リユース対応 他	1,289
PW北東工区	・大屋根（リング） ・バビ リオンB、C ・管理施設、ゲ ート施設等の整備	229	229	270	299	299	299	299	317	56%	317	319	63%	319	319	70%	319	319	76%			
PW南東工区		228	229	229	253	253	253	253	253	72%	253	254	77%	254	254	69%	275	275	72%			
PW西工区		259	259	264	300	300	300	300	300	68%	311	311	73%	311	311	72%	311	311	79%			
GW工区		104	104	137	138	138	142	142	142	57%	142	142	62%	142	142	51%	142	142	54%			
静けさの森工区等（附帯設備含む）		20	20	20	20	20	20	20	24	-	24	24	-	24	24	-	28	29	-			
会場附帯施設整備事業（各工区整備以外）														1	3	-	5	5	-			
施設維持補修											12	12		12	16	-	16	16	-			
主要施設		212	230	259	270	271	271	271	271	271	273	273	277	277	277	277	277	277	14	・各施設の安全対策設備等 ・中島館付属工事・解体等 ・施設工事監理等 他	291	
大催事場	・各施設整備	78	78	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91	91				
小催事場		43	43	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47	47					
迎賓館		38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38	38					
テーマ館		49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	53	53	53	53					
若手建築家施設	・サテライトスタジオ、休憩所等(19棟)	4	22	34	45	46	46	46	46	46	48	48	48	48	48	48	48					
土木工区	・園路基盤整備、水道引込 ・雨水管、污水管、給水管、熱供給管、電気管路、通信管路	99	99	105	105	107	107	107	107	108	108	108	108	108	108	108	108	108	26	・管路等撤去工事 他	134	
インフラ設備 （電気・熱供給、通信、警備設備 等）	・電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・水質改善設備 ・警備設備	201	203	204	226	226	226	226	226	232	232	232	232	232	232	233	232	232	30	・施設の安全対策設備 ・各設備工事工程に伴う変更対応 他	263	
交通施設	・会場外駐車場等整備、付帯設備 ・桜島駅乗降場整備 ・万博アクセスルート整備	60	83	88	94	131	132	136	140	140	140	140	142	147	148	147	147	147	31	・会場外交通施設、施設関係設備、周辺整備 他	179	
環境評価、委託関係	・基本設計業務 ・環境影響評価業務 ・プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	52	52	52	52	57	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	58	6	・現契約案件の継続追加業務 他 （プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等）	64	
合 計		1,464	1,508	1,628	1,757	1,802	1,808	1,812	1,838	1,856	1,861	1,862	1,870	1,918	1,921	299			2,220			

※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。

※一部、内訳端数調整有

※進捗率は「工事費用（出来高）／総工事費用」で算出。

予備費130億円

運営費の執行状況について（2024年9月15日）※速報値

単位：億円

執 行 項 目		契約済・支払済								今後の予定		総合計
		※確定値	※確定値	※確定値	※確定値	※確定値	※速報値	※速報値	※速報値	小計	主な内容	
24年1月末		3月末	4月末	6月末	7月末	8月15日	8月末	9月15日				
会場管理費		147	183	192	223	227	248	250	250	269		519
会場運営管理・来客対応費		56	59	64	93	96	116	117	117		会場内清掃業務、入場券システム改修（紙チケット対応）、ゲート前チケット案内所業務（紙チケット対応）、2025年度非化石電気の調達業務、バーチャル万博運営事務局業務、サイバーセキュリティ等運用業務、備蓄品・防災関連資機材費、医療スタッフ（救護隊）、屋外家具の発注、迎賓館運営業務、賓客車両運転手業務委託、QRコード認証機器端末調達、会場内スタッフ用携帯通信端末提供及び運用・保守業務、スタッフユニフォーム製作(看護師・医療・清掃スタッフ) ほか	
ICT関連費		91	124	128	130	131	132	133	133			
事業運営費		65	65	72	74	78	78	78	78	77		155
共創事業費		15	15	15	16	17	17	17	17		開会式及び主催者催事に係る実施計画・管理運営業務、催事開催にかかる制作協力業務、催事施設備品調達、エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務、サステナドーム実施制作・運営管理業務、公式参加者の内装監理支援業務 ほか	
テーマ事業費		40	40	40	40	40	40	40	40			
催事費		5	5	11	11	14	14	14	14			
住宅・公式参加国関係費		5	5	6	7	7	7	7	7			
営業関係費		22	27	28	33	37	37	47	47	48		95
広報宣伝費		5	7	8	11	12	12	12	12		チケット販売促進等のための広報・プロモーション事業、入場券システムコンタクトセンター、メディアセンター実施計画・運営業務、広報ツールの印刷及び配送、開幕直前期（半年前）イベント実施運営、メディアプラン業務 ほか	
入場券関係費		17	20	20	22	25	25	35	35			
輸送管理費		78	118	120	123	125	125	125	125	59	船シャトルバス運行業務、P&R駐車場事務什器費、廃棄物収集・運搬業務、道路交通マネジメント効果検証 ほか	184
管理関係費		101	114	120	147	150	150	151	152	55	職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	207
合 計		413	507	532	600	617	638	651	652	508		1,160

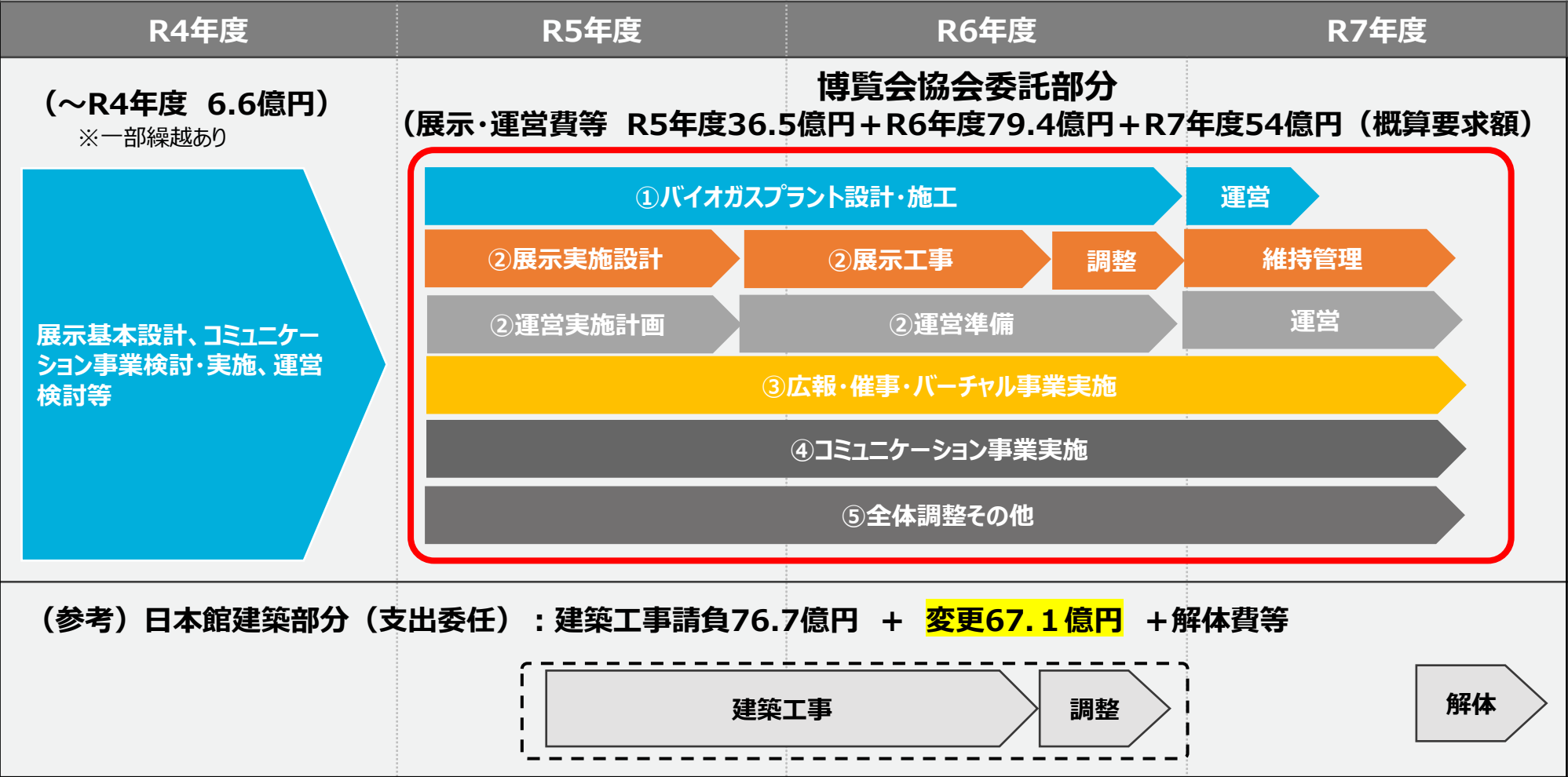
※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わらうもの

※2 一部、内訳端数調整有

※3 契約案件は契約締結日ベース、その他は支払日ベースで計上

日本政府館予算の執行

- 日本館の予算は、日本館の設計・建築の費用（国土交通省近畿地方整備局に支出委任）と展示・運営等（令和5年度から一体的運営を見据え博覧会協会に委託）の費用で構成。
- 令和6年8月7日(水)、躯体部分等に関する工事である当初契約に含まれていなかった展示内装等の工事を追加する日本館整備工事の契約変更を実施。日本館予算の総額は、運営にかかる費用も含めて、最大360億円を予定しており、その範囲内で行ったもの。



2. 日本館の準備状況（建築）

- 建築においては、日本館コンセプトを踏まえ、「いのちのリレー」「いのちのサイクル」を体現する円環状のパビリオンを設計。2025年2月末に完成見込み。
- 2023年9月12日の現地着工以降、着実に工事は進捗。鉄骨は90%程度まで組み上げ完成。CLTについては、全体の75%程度（420枚）まで設置完了（総枚数は560枚）。

